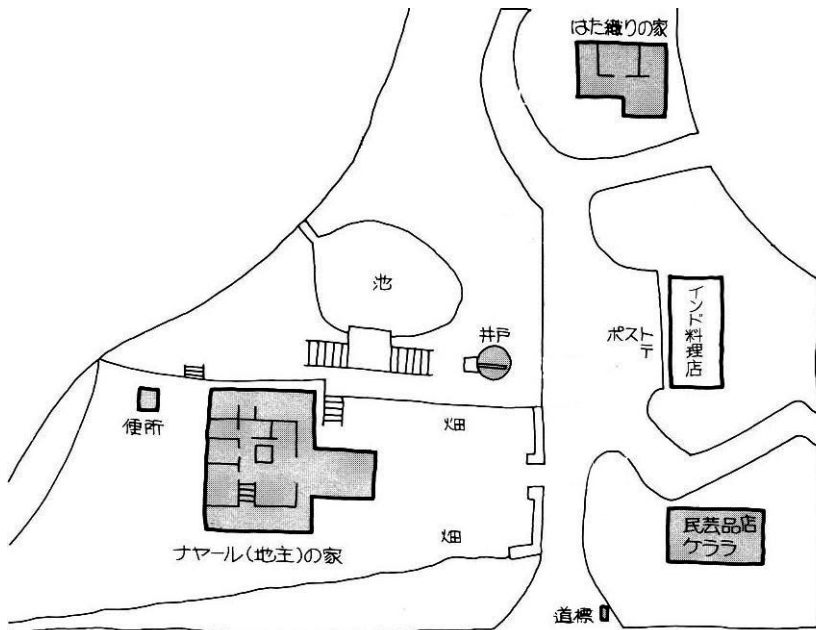


インド ケララ 州しゅう の村

ここでは南インド、ケララ州のココヤシやバナナなど緑があふれる美しい水田村すいでんをモデルに、上級階層かいそう(カースト)の家を中心に復元ふくげんしています。

熱帯モンスーン気候ねったい きこうのこの地の年平均気温は 27℃、もっとも気温が低い月でも 26℃もあります。また雨量は、年間 3700mm もあり、リトルワールドが復元している家屋の中で、もっとも雨の多い土地の家です。



【ナヤールじぬし (地主) の家の壁】

この家の壁はラテライトと呼ばれる素材でできています。ラテライトとは、土の鉄分が酸化さんかしてできた熱帯の赤土あかつちのことで、とても固いために建築材料として使われます。

民族衣装：サリーは1枚の布地

サリーは、インドやネパール、パキスタンなど南アジア地域の女性が着用する民族衣装です。実際、畑で働く女性や都会のOLなど、多くの女性が着ています。布の一端を肩にかけ、裾を地面すれすれにして歩く姿はとても優雅です。

サリーは長さ6m程度、幅1.2mほどの一枚布。縫い合わせていないという点が大きな特徴で、素材は絹や木綿、化学繊維などです。もっとも高価なのは絹で、晴れ着や結婚式などの儀礼の衣装とされ、木綿製のサリーは値段が安く、普段着とされます。模様は、縞、チェック、唐草、花などさまざまです。刺繍、手描き、木版プリント、かすり、絞りなどの技法でつくられます。

サリーは体形に関係なく選びやすいため、しばしば贈答品に用いられ、**重宝**されます。そのため、女性は数十枚のサリーを持っていることが一般的なことです。

【サリーの着方】

- ① 布の端を右腰のペチコートにはさんで止め、前から後ろへ回す。
- ② 右手でプリーツを7回ほどとり、ペチコート前面にはさみこむ。
- ③ 残った布を再び後ろへ回し、胸から肩にかけて後ろへ垂らす。



サリーは、すそを垂らしてくるぶしを隠す点が重要で、逆におなかやおへそは露出させてもかまいません。